

天童よしみ氏 只見町特別観光大使に就任



歌手の天童よしみ氏が只見町特別観光大使に就任されました。

天童氏の祖母ユクさんは只見町坂田田出身です。天童氏を応援していた飯塚岩夫元町長が呼びかけ天童氏が雪まつりに出演されたときは、祖母も一緒に訪れ喜ばれたそうです。

天童氏は「町特別観光大使に任命いただき大変嬉しい。只見町は大切な祖母が生まれたところで、私にとってもふるさと。就任が決まった時は母も喜び、亡くなった祖母が『只見に帰ってきてくれ』と呼んでくれたように感じた。私自身『只見に絶対帰ってくるから』という思いがある。全国、世界に只見町の素晴らしさを発信したい。只見町の皆さんから希望があれば、できることを実現したい」と話しました。

9月27日に町下町民体育館で「只見町特別観光大使委嘱式&就任記念ミニコンサート」が行われ、約330人の町民が来場しました。委嘱式では渡部町長から天童氏に委嘱状が手渡されました。また、飯塚岩夫元町長の孫の酒井亜美さんから天童氏に花束が贈呈されました。

就任記念ミニコンサートで天童氏は「珍島物語」「大ちゃん数え唄」などのヒット曲を歌い、会場を盛り上げました。会津を舞台にした「旅ひとり」では、天童氏が祖母と会津、只見町の思い出を語りました。会場の様子は只見・朝日・明和の各公民館でライブ配信されました。

1…町特別観光大使に就任された天童氏(中央)。委嘱状を持つ渡部町長(右)。花束を贈呈した酒井さん(左)

2…花道を歩き、町民とハイタッチする天童氏

3…素晴らしい歌声で会場を魅了した天童氏

4…天童氏の歌に聞き入る町民

町の魅力や課題を発見 淑徳大学の学生らが来町

町と連携協定を結んでいる淑徳大学が、視察のため8月26日から28日に来町しました。訪れたのは、経営学部観光経営学科科学科長の黒羽義典准教授と学生14人です。

学生らは町内の博物館施設などを回り、町の自然や文化、歴史を学びました。28日には町役場を表敬訪問しました。学生らは「空気やご飯がおいしい」「町民一人一人の地元を思う熱意を感じた」など町の印象を話しました。また、大学で観光について学び、只見町を訪れて感じたこと、疑問を渡部町長に質問し、活発な議論の時間となりました。



▲町役場を訪問した淑徳大学の学生たち

只見町防災セミナー 災害図上訓練を体験

只見町防災セミナーが9月1日、只見公民館で開催され、町民24人が参加しました。講師に日本赤十字社福島県支部の野崎謙司氏を招き、災害図上訓練(DIG)を行いました。災害図上訓練とは地図に避難経路や必要な物資などを書き、災害時の行動を考える訓練です。

今回は大雨被害を想定して、危険な場所や地域防災に役立つ場所などを、グループごとに只見・叶津・八木沢集落の地図に書き出し、共有しました。野崎氏は「災害時の被害を減らすために、顔を寄せ合って話し合う機会が大切だ」と話しました。



▲ペンと付箋を使い、地図に情報を書き込みました

平石山トンネル着工式 通年通行の実現に向け

国道289号八十里越区間の平石山トンネル(仮称)の着工式が9月4日、執り行われました。

八十里越は令和9年夏に暫定開通予定ですが、冬期間は通行できません。福島県が施工する入叶津道路(延長約7・8キロ)は雪崩の危険性が高いため、平石山トンネルや建設中の平石山第2スノーシェッド等の整備により、通年通行を確保します。

渡部町長は「八十里越は生活の道、希望の道であり、命の道となる。新たな大動脈の通年通行による沿線地域の発展に期待している」と祝辞を述べました。



▲工事現場でくわ入れをする出席者

企業版ふるさと納税 マルングループより寄附

マルングループ株式会社(本社・東京都)より只見町に1,000万円の寄附をいただきました。

感謝状贈呈式は9月19日に只見スキー場で行われました。曾我明男代表取締役は「只見町の発展に貢献できよう引き続き応援していきたい」と挨拶しました。渡部町長は「只見町を応援していただけることに感謝したい」とお礼の言葉を述べました。いただいた寄附金は、只見町まち・ひと・しごと創生推進計画に掲げる事業のうち、深沢地区の持続可能な地域づくりを進める「深沢プロジェクト」に活用します。



▲曾我代表取締役(前列左から2人目)に渡部町長が感謝状を手渡しました